

高座清掃施設組合議会会議録

令和 7 年第 2 回定例会

令和 7 年10月22日

議 事 日 程

令和 7 年 1 0 月 2 2 日

日程	議案番号	件 名
1		会期の決定について
2		会議録署名議員の指名について
3		議席の指定について
4	議案第 1 1 号	高座清掃施設組合議会 of 個人情報 の保護 に関する 条例 の一部改正 について
5	議案第 1 2 号	令和 7 年度高座清掃施設組合一般会計補正予算（第 2 号）
6	認 定 第 1 号	令和 6 年度高座清掃施設組合一般会計歳入歳出決算認定について
7		一般質問

高座清掃施設組合議会第2回定例会会議録

令和7年10月22日（水）午後2時30分、高座清掃施設組合議会第2回定例会を高座クリーンセンター環境プラザ大会議室に招集した。

1 出席議員 15名

熊 切 和 人 君	高 柳 浩 子 君
古 郡 敏 正 君	荻 原 健 司 君
野 田 広 吉 君	戸 澤 幸 雄 君
金 江 大 志 君	倉 橋 正 美 君
上 田 博 之 君	宇田川 希 君
齊 藤 慶 吾 君	鈴 木 さよ子 君
松 橋 淳 郎 君	大 塚 真 樹 君
高 波 貴 志 君	

2 欠席議員 なし

3 付議事件

日程4 議案第11号 高座清掃施設組合議会の個人情報の保護に関する条例の一部改正について

日程5 議案第12号 令和7年度高座清掃施設組合一般会計補正予算（第2号）

日程6 認定第1号 令和6年度高座清掃施設組合一般会計歳入歳出決算認定について

日程7 一般質問

4 説明のため出席した者 15名

組 合 長 内 野 優	副 組 合 長 佐 藤 弥 斗
副 組 合 長 橘 川 佳 彦	代表監査委員 島 田 陽 一
事 務 局 長 小 川 隆 太	次長兼総務課長 菊 地 康 之

会 計 管 理 者	押 方 信一郎	参 事	平 本 和 彦
参 事	武 石 昌 明	施設課管理担当課長	藤 本 勝 雄
施設課長事務代理	増 田 大 征	総務課長補佐	杉 田 徹
施 設 課 主 幹	古 郡 哲 也	施 設 課 主 幹	鴨志田 克 巳
施設課管理係長	植 田 哲		

5 出席した事務局職員 7名

施設課業務係長	大 森 博 文	総務課総務係長	山 田 健 太
総務課副主幹	鈴 木 茂	総 務 課 主 査	丸 岡 太
総 務 課 主 査	神 部 晃	総 務 課 主 査	三 浦 敏 正
事 務 専 門 員	柳 田 信 英		

6 傍聴者 12名

7 会議の状況 (午後2時30分 開会)

◎議長（熊切和人議員） ただいまの出席議員は全員であります。定足数に達し、会議は成立いたしましたので、これより令和7年第2回高座清掃施設組合議会定例会を開会いたします。

本定例会開会に当たり、組合長より招集のご挨拶をお願いいたします。組合長。

【 組合長（内野 優）登壇 】

◎組合長（内野 優） 令和7年第2回議会定例会招集に当たり、一言ご挨拶を申し上げます。

議員各位におかれましては、本定例会にご参集いただき、厚くお礼申し上げます。

さて、昭和50年7月に開館し、これまで多くの方々にご利用いただいております本郷老人福祉センターであります。今年で50年目を迎えたことから、令和7年8月24日に、来賓の方々をお招きし、本郷老人福祉センター50周年記念式典を開催いたしました。半世紀もの長きにわたり、地元本郷の方々をはじめ構成市民の皆様に愛され続け、多くの方々の健康増進に寄与し、かけがえのない施設とな

っていることを大変喜ばしく思っております。

また、この本郷老人福祉センターにつきましては、現在、更新計画を進めております。今後は地域交流温浴センターとして、高齢者をはじめ多世代の方々に親しまれる施設として生まれ変わる予定でございます。令和8年度には現在工事を進めております本郷ふれあい公園第二工区が完成し、いよいよ第一工区と合わせてフルオープンとなります。このようなことから、今後、この本郷地域は大変にぎわいのある場所となり、さらに魅力ある地域になると考えております。今後も様々な事業が予定されており、工事期間中は本郷地域にお住いの方々には大変ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

さて、本日ご提案させていただく案件は、条例改正1件、補正予算1件、決算認定1件でございます。よろしくご審議のほどお願い申し上げまして、招集の挨拶とさせていただきます。

【 組合長（内野 優）降壇 】

◎議長（熊切和人議員） 会議に先立ち報告いたします。例月出納検査及び定期監査の結果につきましては、お手元に配付のとおりでありますのでご了承願います。

本日の議事日程は、お手元に配付したとおりであります。

これより日程に入ります。

日程第1 会期の決定についてを議題といたします。お諮りいたします。本定例会の会期を本日1日限りといたしたいと思いますが、これにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（熊切和人議員） ご異議なしと認めます。よって、本定例会の会期は本日1日と決しました。

次に、日程第2 会議録署名議員の指名についてでございます。会議規則第99条の規定により、議長において、倉橋正美議員、高波貴志議員を指名いたします。

次に、日程第3 議席の指定についてでございます。議席の指定については、会議規則第3条第2項の規定により、議長において指名いたします。7番松橋淳郎議員、8番高波貴志議員、9番高柳浩子議員、10番荻原健司議員。以上でござ

います。

次に、組合長より本定例会に上程される諸議案の一括説明を求めます。組合長。

【 組合長（内野 優）登壇 】

◎組合長（内野 優） それでは、本日ご提案申し上げます案件につきまして、一括してご説明申し上げます。

初めに、日程第4 議案第11号 高座清掃施設組合議会の個人情報の保護に関する条例の一部改正についてでございます。これは、行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の改正等に伴う所要の改正を行うものでございます。詳細につきましては事務局長から説明いたします。

次に、日程第5 議案第12号 令和7年度高座清掃施設組合一般会計補正予算（第2号）でございます。本件につきましては歳出予算の補正をしたいものでございます。詳細につきましては次長から説明いたします。

次に、日程第6 認定第1号 令和6年度高座清掃施設組合一般会計歳入歳出決算認定についてでございます。歳入につきましては、予算現額52億1,139万3,900円に対し、収入済額45億7,544万2,914円でございます。歳出につきましては、予算現額52億1,139万3,900円に対し、支出済額は38億3,314万4,950円で、歳入歳出差引額は7億4,229万7,964円でございます。翌年度繰越額は5億1,810万800円ですので、実質収支額は2億2,419万7,164円となります。この決算につきましては、去る9月5日に監査委員の方々から審査意見書をいただいております。詳細につきましては事務局長から説明いたします。よろしくご審議いただきますようお願い申し上げます、一括説明を終わります。

【 組合長（内野 優）降壇 】

◎議長（熊切和人議員） 組合長の説明が終わりました。それでは初めに、日程第4 議案第11号 高座清掃施設組合議会の個人情報の保護に関する条例の一部改正についてを議題といたします。事務局長の説明を求めます。事務局長。

◎事務局長（小川隆太） それでは、日程第4 議案第11号 高座清掃施設組合議会の個人情報の保護に関する条例の一部改正についてご説明申し上げます。

議案書1ページ、2ページをご覧くださいと存じます。提案理由につきましては、先ほど組合長が申し上げたとおりでございます。

本案は、行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の改正等に伴い、所要の改正を行うものでございます。

改正の内容でございますが、同法第2条に新たに第8項が新設されたことにより、以下の項番号が順次繰り下げられることに対応するとともに、文言の整理を含めた所要の改正を行いたいものでございます。

なお、附則でございますが、この条例は公布の日から施行したいものでございます。以上、大変雑駁な説明でございますが、よろしくご審議いただき、ご決定賜りますようお願い申し上げまして、説明とさせていただきます。

◎議長（熊切和人議員） 説明が終わりましたので、これより質疑に入ります。質疑のある方はどうぞ。上田博之議員。

◎（上田博之議員） ご説明ありがとうございます。この個人情報の一部改正について伺いをします。確認だけなんですけれども、これが施行された2023年、令和5年4月以降に、この条例によって個人情報が提供された事例はあるのか。また、制限によって提供されなかった事例があるのか教えてください。

◎議長（熊切和人議員） 事務局長。

◎事務局長（小川隆太） それでは、事例があるのかというご質問でございます。個人情報が提供された事例につきましてはございません。以上でございます。

◎議長（熊切和人議員） 上田博之議員。

◎（上田博之議員） ありがとうございます。同じように、個人情報ファイル簿は現在幾つつくられているのでしょうか。そのファイル簿は、どういう目的で、どういう情報が集められているのか、もしつくられているのでしたら併せて教えてください。よろしくお願いいたします。

◎議長（熊切和人議員） 事務局長。

◎事務局長（小川隆太） 本条例に対しましてのファイル簿でございますけれども、こちらは作成されてございませんということになります。以上でございます。

◎議長（熊切和人議員） ほかに質疑ありませんか。
（「なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（熊切和人議員） ほかに質疑もないようですので、質疑を終結いたします。

いと思いますが、これにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

◎議長（熊切和人議員） ご異議なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

これより討論に入ります。初めに、反対意見の発言を許します。上田博之議員。

◎（上田博之議員） 議案第11号 高座清掃施設組合議会の個人情報の保護に関する条例の一部改正について、反対の立場で討論を行います。

令和5年3月——2023年3月ですけれども——の組合議会において反対討論がなされています。以下の問題が指摘されていますので、確認をしてみたいと思います。

まず、国の個人情報保護法の改正の狙いは、個人情報を集積して、そのデータを企業などで利活用しやすくする仕組みにすること。収集した個人情報を第三者に提供するとき、本人の同意を得ない問題があること。守るべき個人情報を本人の同意もなく目的外利用し、外部提供して企業の利益につなげようということ。で、個人情報の保護はむしろないがしろにされるという問題などが指摘されています。

また、仮名加工情報や匿名加工情報は、特定の個人を識別することができないようにするとありますが、性別、年齢、職業、郵便番号、家族構成など情報を組み合わせれば、個人を判別される可能性は排除できません。また、仮名加工情報や匿名加工情報の基になる個人情報ファイルがあり、その基ファイルからの漏えいの懸念もあります。さらに、国の個人情報保護法改正で死者の個人情報が対象外とされてしまい、本条例でも死者の情報の取扱いが含まれていません。

今回の改正は、これらの問題点の解消、解決には結びつかないものであります。そして、先ほどの質疑でもありましたように、現時点で運用の実績がない、実態がないということでもありますけれども、ないからいいということではありませんので、以上の理由で反対討論といたします。以上です。

◎議長（熊切和人議員） 次に、賛成意見の発言を許します。

(「なし」と呼ぶ者あり)

◎議長（熊切和人議員） 次に、反対意見の発言を許します。

(「なし」と呼ぶ者あり)

◎議長（熊切和人議員） 討論を終結いたします。

これより採決に入ります。本案を原案のとおり決するに賛成の方の挙手を求めます。

(挙手多数)

◎議長（熊切和人議員） 挙手多数であります。よって、議案第11号 高座清掃施設組合議会の個人情報の保護に関する条例の一部改正については原案のとおり可決されました。

次に、日程第5 議案第12号 令和7年度高度清掃施設組合一般会計補正予算（第2号）を議題といたします。次長の説明を求めます。次長。

◎次長兼総務課長（菊地康之） それでは、議案第12号 令和7年度高座清掃施設組合一般会計補正予算（第2号）につきましてご説明申し上げます。

別冊の補正予算書の3ページをお開きいただきたいと存じます。第1表 歳出予算補正でございます。各款項の補正額とその主な内容についてご説明申し上げます。

2款総務費1項総務管理費は555万5,000円の増で、これは福井県敦賀市との訴訟において、令和7年7月14日に最高裁判所から名古屋高等裁判所に差し戻す旨の判決があり、令和7年11月25日から名古屋高等裁判所において審理が開始されることから、訴訟代理人3名に支払う着手金と、当組合職員が同席するための旅費を増額するものでございます。

9款予備費1項予備費は555万5,000円の減で、歳出の差引額によるものでございます。

歳出合計でございますが、額の変更はございません。

なお、4ページ以降に歳出補正予算事項別明細書を記載しておりますので、後ほどご高覧いただければと存じます。以上、大変雑駁な説明ではございますが、よろしくご審議をいただき、ご決定賜りますようお願い申し上げます、説明とさせていただきます。

◎議長（熊切和人議員） 説明が終わりましたので、これより質疑に入ります。質疑のある方はどうぞ。

(「なし」と呼ぶ者あり)

◎議長（熊切和人議員） ほかに質疑もないようですので、質疑を終結いたしますが、これにご異議ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（熊切和人議員） ご異議なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

これより討論に入ります。初めに反対意見の発言を許します。

（「なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（熊切和人議員） 次に、賛成意見の発言を許します。

（「なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（熊切和人議員） 討論を終結いたします。

これより採決に入ります。本案を原案のとおり決するに賛成の方の挙手を求めます。

（挙手全員）

◎議長（熊切和人議員） 挙手全員であります。よって、議案第12号 令和7年度高座清掃施設組合一般会計補正予算（第2号）は原案のとおり可決されました。

次に、日程第6 認定第1号 令和6年度高度清掃施設組合一般会計歳入歳出決算認定についてを議題といたします。事務局長の説明を求めます。事務局長。

◎事務局長（小川隆太） それでは、認定第1号 令和6年度高座清掃施設組合一般会計歳入歳出決算についてご説明申し上げます。

全体の概略につきましては、先ほど組合長が申し上げたとおりでございます。

それでは、決算書2、3ページをお開きいただきたいと存じます。歳入でございます。主に収入済額でご説明いたします。

1 款分担金及び負担金は収入済額23億9,474万6,000円で、その内訳でございますが、運営費分担金14億8,752万6,000円、建設費分担金8億6,970万2,000円、周辺環境整備費分担金3,751万8,000円となっており、前年度と比較しますと、2,077万1,000円、0.9%の減額となりました。

2 款使用料及び手数料は、収入済額5億592万9,972円で、事業系一般廃棄物処理手数料等の増額により、前年度と比較しますと、6,300万2,503円、14.2%の増額となっております。

続きまして、3款国庫支出金は収入済額2億7,578万8,000円で、前年度と比較しますと、2億2,065万5,000円、400.2%の大幅な増額でございます。主な要因といたしましては、厚木飛行場周辺公園設置補助金や循環型社会形成推進交付金の増額によるものでございます。

4款県支出金は収入済額6,093万1,000円で、前年度と比較しますと、3,108万4,000円、104.1%増額でございます。主な要因として、県の市町村自治基盤強化総合補助金の増額によるものでございます。これは、（仮称）地域交流温浴センター整備事業や（仮称）剪定枝リサイクルセンター整備事業及び本郷ふれあい公園（第二工区）整備事業に充てるものとなっております。

5款財産収入はございません。

6款繰越金は収入済額3億8,694万8,997円で、前年度と比較しますと、1億1,075万5,122円、22.3%の減額でございます。主な要因として純繰越金の減少によるものでございます。

7款諸収入は収入済額129万8,945円で、前年度と比較しますと、286万4,924円、68.8%の減額でございます。主な要因として、その他雑入の減額によるものでございます。

8款組合債は収入済額9億4,980万円で、前年度と比較しますと、8億8,150万円、1,290.6%の増額でございます。以上、歳入合計は、収入済額45億7,544万2,914円、不納欠損額、収入未済額ともにございませぬ。前年度と比較しますと、10億6,185万457円、30.2%の増額でございます。

続きまして、4ページ、5ページをお開きください。歳出でございます。主に支出済額で説明させていただきます。

1款議会費は支出済額108万8,732円でございます。

2款総務費は総務関係の管理運営に要する経費で、支出済額4億4,969万6,525円、前年度と比較しますと、6,649万1,746円、17.4%の増額でございます。主な支出額は、人件費、最終処分場の土地賃借料、海老名市への交付金、電算機借料等でございます。

3款民生費は本郷老人福祉センターの維持管理に要する経費で、支出済額2,569万1,484円、前年度と比較しますと、4万8,008円、0.2%の増額、主な支出内容は指定管理料でございます。

4 款衛生費はごみ処理施設等に関する経費で、支出済額16億5,879万5,180円、前年度と比較しますと、2 億4,017万9,872円、16.9%の増額となっております。増額の要因は、第二清掃処理場等解体撤去工事や施設定期整備補修等によるものでございます。

5 款土木費は公園整備に要する経費で、支出済額 5 億1,047万8,540円は、前年度と比較しますと、3 億6,523万4,611円、251.5%の増額でございます。増額の主な要因は、本郷ふれあい公園工事に伴う工事請負費によるものでございます。

6 款教育費は屋内温水プールの維持管理に要する経費で、支出済額 1 億4,689万5,541円、前年度と比較しますと、2,297万9,325円、18.5%の増額でございます。増額した主な要因は、屋内温水プール施設修繕によるものでございます。

7 款公債費は10億4,049万8,948円、前年度と比較しますと、1,156万9,026円、1.1%の増額でございます。増額の主な要因は、令和2年度に借り入れた本郷ふれあい公園（第二工区）整備事業に係る元金償還等によるものでございます。

8 款諸支出金及び9 款予備費の支出はございません。以上、歳出合計は支出済額38億3,314万4,950円、前年度と比較しますと、7 億650万1,490円、22.6%の増額でございます。欄外ですが、歳入歳出差引残額は7 億4,229万7,964円でございます。

7 ページから42ページは歳入歳出決算事項別明細書でございますので、後ほどご高覧いただければと存じます。

44ページをお開きください。実質収支に関する調書でございます。

歳入総額45億7,544万3,000円、歳出総額が38億3,314万5,000円、歳入歳出差引額が7 億4,229万8,000円、翌年度へ繰り越すべき財源が5 億1,810万1,000円でございます。翌年度へ繰り越すべき財源内訳は、継続費通次繰越額は5 億632万8,000円、繰越明許費繰越額は891万7,000円、事故繰越し繰越額は285万6,000円となっております。実質収支額は2 億2,419万7,000円でございます。

45ページ以降には財産に関する調書を記載させていただいており、別冊の歳入歳出決算説明書を添付させていただいておりますので、後ほどご高覧いただければと存じます。以上、大変雑駁ではございますが、令和6年度高座清掃施設組合一般会計歳入歳出決算でございます。よろしくご審議いただき、認定くださいますようお願い申し上げまして、説明を終わります。

◎議長（熊切和人議員） 本決算については監査委員の審査を受けておりますので、代表監査委員より審査結果について総括的なご報告をお願いします。

◎代表監査委員（島田陽一） 代表監査委員の島田でございます。よろしくお願いいたします。

令和6年度高座清掃施設組合一般会計歳入歳出決算につきまして、金江監査委員と審査を行い、決算審査意見書として取りまとめましたのでご報告いたします。

それでは、審査意見書1ページをお開き願います。4番目、審査の結果でございます。一般会計歳入歳出決算書、関連する明細書及び調書は、いずれも関係法令の定めるところに従って作成されており、金額は正確に記載されておりました。また、本会計の予算執行も、効率的かつ適正に行われていると認められました。

続きまして、3ページをご覧ください。ここから16ページまで、歳入歳出決算状況、款別説明、実質収支及び財産に関する調書等を記載してございますが、組合長、事務局長のご答弁、ご報告と重複いたしますので、割愛し、後ほどご高覧いただければと存じます。

最後になりますが、19ページをお開き願います。令和6年度決算を振り返り、要望事項として記しましたので、簡潔にご報告させていただきます。

ごみの総搬入量は減少傾向にあるものの、依然として計画量を上回っております。焼却炉を酷使してしまうと、早期に寿命を迎えてしまう危険性がございます。焼却炉を守るためには、ごみの削減が絶対条件となっております。ごみの削減は最重要課題であり、当組合は三市で構成される一部事務組合でございますので、三市で共通した削減政策が必要なのではないでしょうか。

また、リチウムイオン電池等による火災を原因とした施設稼働停止の場合、復旧には莫大な公費負担を投じなければならないことから、リチウムイオン電池等を持ち込ませないよう市民への注意喚起が重要となっております。

なお、当組合は、周辺環境対策への課題として、公園整備や旧施設の解体撤去及び（仮称）地域交流温浴センター整備事業など大きな事業を抱えているほか、係争事案、敦賀市との訴訟でございますが、これにつきましても今後継続されることから、さらなる予算を要することが想定されます。

以上のことを踏まえますと、組合には、周辺地域と築き上げた信頼関係を維持継続するとともに、次世代によりよい環境を残していくために、適正なごみ処理の実施及び効率的な予算の執行に努め、組合としての責務を確実に遂行することが求められております。そのことを強く要望することで、令和6年度決算の報告とさせていただきます。以上となります。

◎議長（熊切和人議員） 報告が終わりました。これより決算について質疑に入ります。質疑のある方はどうぞ。鈴木さよ子議員。

◎（鈴木さよ子議員） 決算の細かいところなんですけれども、事項別明細のところ、決算書の21ページ、歳出2款総務費のところ、I P Kシステム導入3万4,210円なんですけれども、これはいろいろなものを統合していくシステムだと思うんですが、こういった形で使われるのか、今後、毎年計上される費用になるのか伺います。

◎議長（熊切和人議員） 総務課長補佐。

◎総務課長補佐（杉田 徹） 今のご質問をご答弁させていただきます。

まず、構成市との情報交換なんですけれども、メール等で実施しております。ただ、セキュリティー等で送付できないこともあります。情報のやり取りが煩雑になることがございました。高座の運営に必要な条例改正等の情報を効率的に得るため、また、海老名市の職員に身分変更となりまして、職員として海老名市の情報を得ることとしております。

費用については令和6年度限りの回線費用になります。以上でございます。

◎議長（熊切和人議員） 鈴木さよ子議員。

◎（鈴木さよ子議員） 詳しいご答弁ありがとうございます。今後は計上されない経費だということが分かりました。これは組合としてI P Kシステムを新規に導入するということではなくて、海老名市のI P Kシステムを利用するための回線費用という理解でよろしいでしょうか。

◎議長（熊切和人議員） 総務課長補佐。

◎総務課長補佐（杉田 徹） 今、議員がおっしゃられたとおり、こちらは海老名市のI P Kシステムを利用するための組合とN T T回線を結ぶ費用となります。以上でございます。

◎議長（熊切和人議員） ほかに質疑ありませんか。上田博之議員。

◎（上田博之議員） 決算もよろしく願いいたします。私から８点ありますので、よろしく願いいたします。

まず、決算書の10ページ、11ページですけれども、歳入の国庫支出金についてお伺いをいたします。前年度より400%増の２億7,600万円弱となっています。その一方で、歳入予算の執行率は51.7%と低く、約２億5,000万円の歳入不足となっています。事業の進捗の遅れによるものだと思いますが、この経過をご説明いただきたいと思います。

また同様に、県支出金が前年度より２倍以上の約6,900万円となっていますが、歳入予算の執行率は80.2%で、1,500万円以上の歳入不足となっています。これについてもご説明をお願いいたします。特に歳入不足となった理由を詳しく教えてください。

２つ目ですけれども、決算書の23ページ、２款１項２目、電算機借料2,424万4,440円についてですけれども、財務会計、人事給与、CAD等各種システムサーバー、ADサーバー、ファイルサーバー、ファイルバックアップシステム、PC端末、各種プリンターなどの各台数、個数と各借料について確認をさせていただきます。

３点目です。決算書の25ページと、39ページにわたると思いますけれども、３款１項１目と６款１項１目です。ここでは指定管理者についてまとめてお伺いをしたいと思います。室内温水プール、本郷老人福祉センターについてですが、これらの指定管理者との打合せの頻度と回数、モニタリングの実施の回数とその結果、社会保険労務士によるチェック実施の内容と結果についてお伺いをいたします。その中で浮かび上がった課題と対応についてもお願いいたします。

４点目、決算書の28、29ページになると思いますが、４款１項２目、最終処分場浸出水処理施設定期整備補修についてですけれども、周辺環境を悪化させないための重要な点検、補修であると認識をしていますが、現在どのような人的配置で行っているのか教えてください。また、年次点検は年度のどの時点で何か所で行ったのか。さらに、実際に整備補修も行ったと思いますが、どのような補修を行ったのか教えてください。その補修の必要性とともに確認をさせていただきたいと思います。

５点目です。決算書の29ページ、33ページにわたります。４款１項２目、最終

処分場等各種分析業務と、4款1項3目、最終処分場等各種分析業務についてですけれども、塵芥処理やし尿処理における水質汚濁等の環境汚染の分析業務をどういう体制で行っているのか、これも確認をさせていただきたいと思います。検査の箇所数や回数もお願いいたします。また、債務負担行為による支出とそうでないものがあるんですけれども、これはなぜなのか教えてください。

6点目です。決算書の30、31ページ、4款1項2目、（仮称）剪定枝リサイクルセンター整備に係る生活環境影響調査業務についてですが、生活環境影響調査書としてまとめられているということですからけれども、この中でどのような課題が明らかとなったのか教えてください。また、この調査書は、ホームページを幾らひっくり返しても掲載されていないようなんですけれども、公表をどのようにされているのか教えてください。

決算書、やはり30ページ、31ページですが、4款1項2目、じん芥処理施設等管理運営業務について、ここでは3点お伺いいたします。まず、特別目的会社とは日常的にどのようなコンタクトを取っているのか。協議や報告書の提出はどういうタイミングで行われているのか教えてください。その中で明らかになった課題とその対処についてもお願いいたします。

2点目としては、高効率ごみ発電施設における有価物（鉄）の売却でのトン当たりの売払い単価は、計算しましたら1万3,000円となっていました。その一方で、マテリアルリサイクル施設における有価物（鉄）の売却は、トン当たり売払い単価は1万5,000円となっていました。2,000円の違いがあるわけですが、この違いについてご説明をお願いいたします。

3点目は、高効率ごみ発電施設における余剰電力売却と運営固定費調整分というのがあるんですけれども、この関係の説明をお願いいたします。

最後に決算書36、37ページのところで、5款1項1目、本郷ふれあい公園井戸改修工事についてお伺いをいたします。高座では、本郷ふれあい公園（第一工区）の井戸を海老名市環境保全条例第27条により届出をしなければいけなかったのに、それを怠ったということがまずありました。このことで本来なら罰金5万円を支払うべきところを、海老名市長の寛大なご配慮で支払いを免れたということがあったというふうに記憶しています。また、第一工区に造られた井戸は深さ100m以上のところにストレーナーをつけたもので、第二工区の工事が完成する

と、神奈川県生活環境の保全等に関する条例施行規則第68条に違反する井戸となりました。このことは、この高座の議員を長らくやっていた松本春男綾瀬元市議の指摘によって明らかにされ、高座の組合もそのことを認識するに至ったということがありました。その結果、その違反状態を解消させるために、昨年度、新たに井戸を掘り直すことになったわけです。指摘されるまで違反になることに気づかなかったことをどのように反省し、繰り返さないためにどのような取組、対策を行ったのか、確認をさせていただきたいと思います。以上、よろしくお願いいたします。

◎議長（熊切和人議員） 総務課長補佐。

◎総務課長補佐（杉田 徹） まず、私からご質問の1番目と2番目、1番目の国庫支出金と、2番目の電算機借料、これについてご答弁させていただきます。

まず、国庫支出金ですけれども、歳入予算執行率で51.7%と低く、約2億5,000万円の歳入不足ということでございますけれども、まず、国庫支出金には、第二清掃処理場等解体撤去工事、こちらが交付金として交付されております。歳入の執行率の残り約50%、こちらは約2億5,000万円、ご指摘の内容ですけれども、第二清掃処理場等解体撤去工事によるものでございまして、国庫支出金の令和5年度の繰越分と令和6年度の3億4,310万円、このうち工事の進捗の遅れによって、令和6年度ですけれども、9,782万3,000円にとどまりました。この差額2億4,527万7,000円、約2億5,000万円、こちらを令和7年度に繰り越してございます。こちらは工事の進捗によって交付されることとなっております。

また、続いて県支出金の関係です。県支出金の歳入1,500万円についてでございます。こちらは国庫支出金と同様に、第二清掃処理等解体撤去工事で当初3,076万7,000円を見込んでございました。こちらは、工事の進捗の遅れによって1,704万2,000円の交付となりまして、差額1,372万5,000円、こちらも令和7年度に工事の進捗によって交付されることとなっております。1番目のご質疑は以上でございます。

続いて、電算機の借料2424万4,440円についてでございます。各台数、各借料についてでございます。まず、財務会計システム関連一式でございます。286万9,860円。人事給与システムサーバー、これは1台でございますけれども、212万

5,128円。それからCAD等各種システムサーバー、こちらが28万8,156円。それからADサーバー、こちらも1台でございますけれども、58万3,092円。ファイルサーバー1台61万3,320円、ファイルバックアップシステム一式で154万2,744円。端末等でございますけれども、55台で592万9,776円。プリンター関連5台で88万1,040円。そのほかに導入費用とソフトウェア、セキュリティー関連一式で941万1,324円となります。以上でございます。

◎議長（熊切和人議員） 施設課管理係長。

◎施設課管理係長（植田 哲） では私のほうからは、3番目にご質問いただきました屋内温水プール、老人福祉センターについてのことと、7番目にご質問いただきましたじん芥処理施設についての回答をさせていただきたいと思います。

まず、温水プールと老人福祉センターについてをさせていただきます。指定管理者との打合せの頻度と回数でございますけれども、月に1回、月例の定例報告会、あと年に1回、年次の報告会というのをやっております。そのほか事業提案事項の確認での打合せ、指定管理者の評価を行うための打合せなど、定例で年に15回程度実施しております。また、不具合の報告ですとか事件、事故等発生時には随時連絡、対応という流れで実際にやっているところでございます。

モニタリングについてなんですけれども、モニタリングにおいても月例報告会時に定例で実施しているほか、また施設不具合、事件、事故等に関して随時実施しているところです。こちらは結果としまして、施設の老朽化に伴う不具合というのが発生しているような状況でございますが、利用者等の安全に考慮して、緊急性に応じて分類しながら対応しているような状況でございます。

次に、社会保険労務士さんの確認についてでございますけれども、指定管理者として働く職員の労働条件等について、社会保険労務士による審査というのを行っていただくというものでございまして、実際の結果の一例といたしましては、パートタイマーの更新時に労働条件に変更がなかったというところから、労働契約書の取り交わしがなされていなかったといったようなことが指摘をされているところです。こちらにつきましては改善すべき事項ということで、報告を受けた事項について組合から改善指導を行いまして、指定管理者において改善をされているという状況でございます。

続きまして、じん芥処理施設についての回答をさせていただきます。3点ござ

いました。

まず1点目、特別目的会社と日常的にどのようなコンタクトをといるところでございます。組合の運営日には毎日、業務報告という形で日報の提出をいただいているところがございますので、日常的にコンタクトのほうは取っている状況でございます。報告書の提出につきましては、日報は毎日、そのほかの月報等については報告会等の予定に合わせて提出をされるような状況でございます。報告書において報告を受けた課題等につきましては、一例とはなるんですけれども、排ガス分析を行っている中で水銀値が上昇しているとか、そういったときに対応に必要な活性炭の吹き込み量を増加させて運転する等、そういった日常的な対応に対して対応させていただいているといったような状況でございます。

続きまして、2点目のご質問です。発電施設における有価物のお話です。まず、高効率ごみ発電施設から排出される有価物というのが、焼却炉で焼却されたマテリアルの資源物になりますので、マテリアルリサイクル施設から出されるものというのは焼却しないそのままの鉄というものになります。ですので単価のほうの違いがあるといったような状況でございます。

続きまして3点目、高効率ごみ発電施設における余剰電力売却といったものと運営固定費調整分の関係について説明します。まず、余剰電力売却というのは、ごみ発電によって発電した電力のうち、施設の運転で使用した残りの余剰となった電力、こちらを売却しているといったものになります。運営固定費調整分というのは、ごみの減量化が進まずに、もともと計画処理量があったんですけれども、それを超過したごみ処理というのは今まで行ってまいりました。そちらに相当する事業者のほうの経費の部分になってございます。こちらの運営固定費調整分となる費用を余剰電力売却による金額で精算しているといったような関係でございます。私からは以上となります。

◎議長（熊切和人議員） 施設課長事務代理。

◎施設課長事務代理（増田大征） それでは、私のほうから4番目と5番目の質疑に対して回答させていただきます。

4番目の最終処分場浸出水処理施設定期整備補修についてでございますが、こちらの施設について、日常点検として、まず職員がポンプなどの可動する部分等について、毎日確認していただいております。年次点検といたしましては、設備

の専門性が高い部分になりますので、秋頃に、日頃、設備を稼働している職員立会いの下、業者に行ってもらっているところになります。点検の内容ですが、全体的な点検を行っていますが、稼働状況を鑑み、重点を置く部分はございます。令和6年度の補修部分につきましては、水をためている槽に入ったクラックを補修したものになっております。

続きまして、5番目の質問についてですけれども、こちらは最終処分場等各種分析業務というところになるんですけれども、こちらの分析につきましては、最終処分場と水処理施設の分析業務を行っているものになります。こちらの施設について、職員が簡易的な測定、pH測定なんですけれども、これを毎日行っているものになっております。また、月1回の頻度で水質分析、最終処分場ですと放流水、原水、地下水、水処理施設ですと最終放流水を業者に依頼して測定しているものになっております。検査は以上の4か所になります。年間測定といたしましては95検体、600項目を超えるものになっております。それに加えて、水処理施設の搬入物の抜き打ち検査も行っているところになっております。

なお、債務負担行為につきましては、契約が翌年度にまたがるものになりますので、債務負担行為をさせていただいているものになっております。以上になります。

◎議長（熊切和人議員） 参事。

◎参事（平本和彦） それでは私からは、6番目にご質問いただきました（仮称）剪定枝リサイクルセンター整備に係る生活環境影響調査についてお答えさせていただきます。

本調査でございますけれども、令和5年度、6年度の継続費で実施しているところでございます。その報告書の中では、環境保全措置を適切に実施することで、稼働に伴う生活環境への影響は十分に回避、低減されるといった内容で評価をいただいているところでございます。調査報告書の公表につきましては、令和6年12月に開催いたしました地元定例報告会の中で説明を行い、概要版も配付させていただいているところでございます。以上でございます。

○議長（熊切和人議員） 事務局長。

◎事務局長（小川隆太） それでは私のほうから、最後になると思いますが、本郷ふれあい公園井戸改修工事についてお答えさせていただきます。

まず初めに、海老名市環境保全条例第27条による届出に対する罰則の件でございますけれども、こちらは、海老名市からは、届出がなされたことで罰則の適用対象外になるということを伺ってございます。

次に、第一工区の井戸設備は、単体施設だけでは神奈川県条例の届出不要物件となっており、条例違反ではございませんでした。しかしながら、第二工区を含めた本郷ふれあい公園全体を対象にすると条例の対象施設となることから、議員からご指摘を受けたものでございます。このことを踏まえて、条例及び公園全体計画の再確認を行い、第一工区井戸設備の是正措置が必要となることを認識したものであり、全体的な視点が足らなかったということを感じているところでございます。

取組及び対策でございますけれども、関係する条例の許可要件や手続等を複数人で確認する。また、疑義事項については、神奈川県、海老名市と打合せをして、誤りがないように進めているところでございます。今後も井戸設備に関する届出、報告につきましては、現行の取組及び対策を継続して進めてまいります。以上でございます。

◎議長（熊切和人議員） 上田博之議員。

◎（上田博之議員） ご丁寧にご回答ありがとうございました。再質問を幾つかさせていただきたいと思います。

まず国庫支出金のところでございますけれども、第二清掃処理場の解体撤去工事の遅れによるものだということですが、本会議に先立って先ほど行われた議員全員協議会において、工事の進捗率は今年9月末で約38.4%との報告がありました。工事の契約期間も、今年の7月末から来年の10月末へと1年3か月先延ばしとなっているわけですが、現在の進捗具合から見ると、この工期でも解体撤去が完了しない可能性があるように思います。今後のスケジュールと工期の延長による契約金額の変更の可能性についてどのように判断をされているのか、確認をさせてください。

次に、電算機の借料についてでございますけれども、細かくありがとうございました。その中で、例えばファイルサーバーで年61万円以上、ファイルバックアップシステムで年154万円以上ということでした。ファイルサーバーのレンタル費用はいろいろあると思いますが、ビジネスプロ仕様で調べてみると、月4,000円

から6,000円というものもありました。年額だと7万円程度ということになります。サーバーの容量とか仕様が違うということがありますので、一概に言えないということは十分承知しておりますけれども、今後、こうした機器の合理化や、安価な汎用性のあるソフトの導入ができるかできないかの可否などについて検討をしていただきたいと思いますけれども、どのようにお考えになられているのか、ご回答をお願いいたします。

次に、指定管理者の件ですけれども、モニタリングなどもしっかりされているということが分かりまして、ありがとうございます。不具合の報告及び事件、事故などが発生したときは、随時連絡、対応しているということでありました。主に老朽化に伴う対応というご説明でしたけれども、それ以外にもあるのではないかと思います。随時対応された回数と老朽化対応以外の事例を教えてくださいと思います。

また、社会保険労務士によるチェックは何月に行われたのか。高座の施設で行われたのか、書類上だけのチェックだったのか、労働者への聞き取りなどが直接行われたのかなどについても確認をさせていただきたいと思いますので、よろしくをお願いいたします。

次に、最終処分場の件ですけれども、毎日の確認をされているということで、ありがとうございます。ところで、1人の職員で点検をしているのか、複数でダブルチェックをしているのか、それとも複数で行っているけれども場所を分担して行っているのか、もうちょっと具体的にリアルなところを教えてくださいと思います。

また、重点を置く部分があるというご説明がありました。1つ紹介があったわけですけれども、ここ3年間ぐらいとか、5年でもいいんですけれども、重点箇所が毎年違う可能性がありますので、この間、どのような重点箇所を考えて調査、補修などを行ってきたのか、参考までに教えてくださいと思います。

最終処分場の分析についてですけれども、抜き打ち検査を行っているというご説明がありましたが、何回抜き打ち検査を行ったのか教えてくださいと思います。また、抜き打ちを行うということは重要だと思いますけれども、その意義をどう捉えているのか。なぜ抜き打ちをするのかということについて確認をさせていただきます。

剪定枝リサイクルセンターの整備に関わることで、環境保全措置を適切に実施すれば生活環境への影響は回避、低減できるという調査書がまとめられているということでしたけれども、具体的にどのような環境保全措置を取るようになるのか、お考えを教えてください。

また、概要版を地元へ配付したというご説明がありましたが、高座の私たち議員への配付はされたのでしょうか。私は以前も高座の議員でありましたが、今年の6月から新たにまた議員になりましたので、昨年度の現場にはいませんでしたので、配付されたのかどうか分からないので確認をさせてください。

さらに、概要版でない報告書、つまり全体の報告書の閲覧、公表はどうなっているのか、確認をさせていただきたいと思います。そして、それぞれのホームページへの掲載を求めたいと思いますが、広く市民に公表しないのかとか、するお考えがあるかないかをお聞きしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

じん芥処理施設の管理運営業務ですけれども、ここはご説明がよく分かりました。その中で、余剰電力売却と運営固定費調整分の関係について、理解をしたところですが、ごみの減量化が進めば、こうした運営固定費調整分はなくなるということで、余剰電力売却による利益が増えるということになりますので、三市を挙げて減量は進めていきたいというふうに思うところであります。ありがとうございました。

最後に、先ほど5万円の罰金についてちょっと触れたところですが、後から届出を出されたことによって、高座の組合長、また海老名の市長、それぞれの裁量の中で罰金の支払いがなくなったものだというふうに理解をしているところです。先ほどのこうしたことを繰り返さないということでありましたけれども、今まで以上に確認作業、チェックをしっかりと行っていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。この造り直しによって約3,220万円が失われたわけです。井戸1基に対してかなり高額だと思うわけですが、この3,220万円の適正価格の内訳についてご説明いただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

◎議長（熊切和人議員） 参事。

◎参事（平本和彦） 私からは、まず最初の国庫支出金の関係で、第二清掃処理

場等解体撤去工事についての再質問がございましたので、まずそちらのほうから答弁をさせていただきます。

今後のスケジュールと工期の延期による契約金額の変更についてでございます。令和8年10月31日まで契約期間を延長しておりますけれども、正直言いました、工事受注者側から厳しいといった声が出ているのも事実でございます。ただ、しかしながら、組合といたしましては、温浴施設や（仮称）剪定枝リサイクルセンターの整備がこの後に控えているというような状況がございます。ですから、そういった意味でこの期日で努力するよう、工事受注者側に求めた期日として変更契約を進めるといったところでございます。今年度はダイオキシン類を含む焼却灰等の除去、それについては一部を除き完了させる予定でございます。また、プラント設備の解体に着手する予定でございます。

契約金額の変更につきましては、今までも議員全員協議会の中で進捗状況をご報告している中で、幾たびかご質問をいただいているところでございます。追加の土壤汚染調査で新たに確認されたアスベスト含有建材の除去、処分、それから汚染土壤に関わる費用、こういったものに対して金額が増となる部分でご答弁させていただいています。それにつきましては、その状況に変わりはないといったところでございます。以上でございます。

それから、生活環境影響調査についても私のほうから、再度質問いただきましたことについて答弁させていただきます。

ご質問の環境保全措置でございますけれども、調査項目4項目に対しまして主なものとしたしましては、まず大気質に対しましては、能力に見合った集塵機の選定、建屋の扉を閉めた状態での稼働といったことでございます。騒音につきましては、環境に配慮した機種を選定、扉を閉めた状態での稼働。振動につきましては、設備の設置箇所への防振ゴムの施し。それから悪臭につきましては、脱臭装置の適切な維持管理、木材チップをストックさせないなどの生産管理をするよう掲げられているところでございます。今後、この措置に準じて対処してまいりたいと考えているところでございます。

生活環境影響調査報告書の公表についてでございますが、このたびの施設の能力から、廃棄物の処理及び清掃に関する法律第8条で求められている生活環境影響調査には該当しないということになります。しかしながら、組合としては、施

設を整備している以上、地域へ与える影響を調査し、地域に対して報告する必要があると判断し、生活環境調査を実施したものでございます。地域に対して報告が既に済んでおりますので、ホームページへの掲載は行っておりません。また、地域以外には配付しないといったところでございます。以上でございます。

◎議長（熊切和人議員） 総務課長補佐。

◎総務課長補佐（杉田 徹） 私からは、電算機の再質問の答弁をさせていただきます。

機器の合理化と汎用性のあるソフトということで、機器の合理化については、現状、大型プリンターにおいては、既存プリンターでできる機能についてはそれらを使用して、実情に合ったスペックの見直しを実施しております。汎用性のあるソフトについては、ホームページビルダーとかドキュワークス等を導入して対応しているところでございます。今後についても、機器の合理化、汎用性のあるソフト、こちらについてはサーバーの仕様等、セキュリティー面も踏まえて、様々な手法によって導入の可否を含めて検討してまいりたいと思います。以上でございます。

◎議長（熊切和人議員） 施設課管理係長。

◎施設課管理係長（植田 哲） 私からは指定管理者についてお答えしたいと思います。

不具合報告及び事故、事件などは随時連絡、対応というところになるんですけれども、令和6年度は、対応件数といたしましては、屋内温水プールで8件、老人福祉センターのほうで4件対応させていただいているところになります。内容についてなんですけれども、老朽化以外の部分ですと、事例といたしましては、主に施設の利用者様が体調不良で倒れられるといったところの救急に対する対応というのが主なものになっております。

続いて、社会保険労務士さんによるチェックについて、何月に行われたのかといったようなものに対するご回答なんですけれども、令和6年度、社会保険労務士さんによるチェックのほうは行っておりませんので、今年度、今現在やっておりますので、令和7年度を例に回答させていただきたいと思います。

社会保険労務士さんによる審査時期でございますけれども、令和7年につきましては7月から開始いたしまして、9月まで調査のほうを行っているところでござ

ざいます。現在は報告書の取りまとめというのを行っています。審査は書類審査に加えて労働者への直接聞き取りというものも実施しております。書類につきましては、提出された書類を社会保険労務士事務所のほうで確認をしていただくものでございまして、労働者さんへの聞き取りにつきましては、プール施設の中と、あと、こちらの環境プラザのほうの会議室などを利用して、聞き取りのほうを行わせていただいているといった状況でございます。私からは以上です。

◎議長（熊切和人議員） 施設課長事務代理。

◎施設課長事務代理（増田大征） それでは、私のほうからは、最終処分場の日々の点検についてと抜き打ち検査のことについて回答させていただきます。

まず、最終処分場の点検についてですけれども、こちらは午前と午後でそれぞれ1名ずつで行っているものになります。音の確認などもございますので、確認に個人差が生じる懸念もあることから、随時、複数人でチェック内容の認識の共有も行っているような状況でございます。

また、重点を置く部分についてですけれども、浸出水が現在安定しておりますので、あまり使用しない設備もございます。そのため、利用頻度が高い各水槽の腐食に伴う劣化状況などに重点を置いて、点検のほうをさせていただいているところになります。

次に、抜き打ち検査のことについてなんですけれども、こちらの抜き打ち検査というのが水処理施設に搬入されるものについての抜き打ち検査になっておりまして、年4回実施させていただいております。この検査についてですけれども、水処理施設の安定運転に支障が出る搬入物を防ぐことを目的として行っているものになっております。以上であります。

◎議長（熊切和人議員） 参事。

◎参事（武石昌明） 私のほうからは、井戸改修工事の内容についてご答弁申し上げます。

井戸改修工事の内訳は、4つに区分して契約ベースでお答えいたします。まず最初に、1、井戸設備工、約1,667万円、2、管理施設整備工、約81万円、3、仮設工、約239万円、4、諸経費と消費税、約1,233万円の合計3,220万円となっております。以上です。

◎議長（熊切和人議員） 上田博之議員。

◎（上田博之議員） ありがとうございます。まず、国庫支出金の関係では、工事の遅れについての今後の見通しなども示していただきました。努力をしていくということですが、アスベストとかダイオキシンなどの有害な物質を含む撤去作業ですので、粗雑に行うことはできません。周辺への汚染をゼロにして、作業員の方々の健康被害もあつてはなりませんので、安全対策をしっかりと行いながら、一方で工程管理を合理的に行って、できるだけ早期に、計画どおりに完了できるようにご努力をお願いしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

次に、電算機のところですが、いろいろ汎用性のあるソフトなどの使用などというご説明がありました。今後もっともいろいろ研究をさせていただいて、経費の節減なども努めていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

指定管理者については、社会保険労務士のチェックについて、昨年度行われたのかなと思いつつ答弁を聞いていたら、行っているような答弁だったんですが、2度目のご答弁で昨年度はなくて今年度やっているというご説明がありまして、納得をしたところです。これは新たにここ数年前から、四、五年前から始まった社会保険労務士のチェックですので、有効に活用されて、より健全になるように、ご努力をよろしくお願いいたしますので、よろしくお願いいたします。

最終処分場については、今回はこれで大丈夫です。ありがとうございました。

生活環境影響調査書についてですが、地元には配付しているところでは十分理解をするところなんですけれども、ご回答の中で、議員に配付したかどうかというところはなかったように聞こえました。少なくとも私たち高座の議員には、昨年この調査書が出来上がった段階で配付されるべきものではないかと思います。もうされていたなら大変失礼なことを申し上げておりますけれども、私の今現在の認識では、また、ご答弁の中では配付されたという言葉はありませんでしたので、この配付はというか、こういった調査書については、あらゆる機会を通じて高座の議員には示すべきだろうというふうに思います。今のご回答でもその辺の認識がありませんでしたので、私のほうからは、そうした資料に当たるようなものは大いに公開をしていただきたいということを重ねて申し上げます。

ので、それでも公開しないということであれば、再度ご答弁いただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

あと、余剰電力売却と運営固定費調整分については、減量ができればということで理解をいたしました。

最後に、本郷ふれあい公園についても、ちょっと井戸、高いなという気はしますけれども、それなりの根拠を持って行っているということを認識いたしましたので、これで結構です。これからも健全な、そして公正な組合の運営をよろしくお願いいたします。ありがとうございました。

◎議長（熊切和人議員） 参事。

◎参事（平本和彦） 生活環境影響調査報告書の公表について、再度お答えさせていただきます。

いずれにしても、議員各位に配付はしておりません。来年度、実はこれからの話なんですけれども、これから予算等も要求させていただくような形なんですけれども、来年度、当施設の実施設計を予定しております。そういった中で、できれば議員各位にご説明申し上げたいというふうに考えております。以上でございます。

◎議長（熊切和人議員） ほかに質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（熊切和人議員） ほかに質疑もないようですので、質疑を終結したいと思います。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（熊切和人議員） ご異議なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

これより討論に入ります。初めに、反対意見の発言を許します。

（「なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（熊切和人議員） 次に、賛成意見の発言を許します。

（「なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（熊切和人議員） 討論を終結いたします。

これより採決に入ります。本件を認定するに賛成の方の挙手を求めます。

（挙手全員）

◎議長（熊切和人議員） 挙手全員であります。よって、認定第1号 令和6年度高座清掃施設組合一般会計歳入歳出決算認定については認定することに決しました。

次に、日程第7 一般質問を行います。

この一般質問は、10月16日午後5時までに通告があった1名の議員の発言を許します。倉橋正美議員の発言を許します。

【 倉橋正美議員 登壇 】

◎（倉橋正美議員） 海老名市議会、倉橋正美でございます。一般質問をさせていただきます。

先だって、地元説明会という形で、それぞれの組合長、副組合長が地元の方たちとの意見交換をされたというふうに聞いております。そういう中で、様々な意見が出てきたかと思えます。そのようなことを踏まえて質問させていただきますけれども、昭和38年にこの組合が設立をされました。今年でもう62年になります。その長きにわたって、特に本郷の地域の皆さんにおかれましては、多大なるご迷惑、そして多大なるご協力を得ながら、ここまでこの施設が運営されてきたわけでございますけれども、その中で1人1日当たりの家庭系ごみの排出量、やっぱりこれはそれぞれの構成市の市民一人一人のごみに対する意識の表れであるというふうに私は考えておりますけれども、そういう中で、令和6年度の排出量が、海老名市については1人当たり318g、座間市は364g、綾瀬市は395gという結果が出ております。これはやはり市民一人一人のごみに対する取り組む意識の表れであるというふうにも、見方としては言えるのではないかというふうに思っています。

焼却施設がある海老名市民にとっては、やはりとりわけ本郷の方たちからすれば、座間市、綾瀬市さんが上回っている事実というのは、ある意味、納得できない、もっと削減してほしい、そういう強い不公平感があるのではないかと感じております。この1人1日当たりの家庭系可燃ごみの排出量の違いについては、先ず施設組合としてどのように捉えているのか、まずこの場からお伺いをいたします。以上です。

【 倉橋正美議員 降壇 】

◎議長（熊切和人議員） 組合長の答弁を求めます。組合長。

◎組合長（内野 優） 倉橋正美議員のご質問にお答えいたします。

焼却施設を有する海老名市市民、特に本郷の皆様が強い不公平感を抱かれていますとすれば、真摯に、かつ重く受け止めなければいけないと考えております。構成市内の住民の皆様のゴミ減量化に向けての意識づけであります。一人一人が自分のこととして意識することによって、重要な課題と認識をしております。

私も構成三市、ゴミの排出量の違いの要因は多岐にわたると考えておりますけれども、海老名市は、令和元年から、皆さんご存じのとおり、ゴミの有料化を実施しました。いわゆる意識を変えろというのは、減量化によって変わるわけがあります。何しろ多く出せばお金がかかります。いわゆる袋のお金がかかる。よって減量化をする、あるいは少なくしていく意識、そして、それによって分別をしていく意識も高まっております。

それで、何よりも私が思うことは、働いている職員のモチベーションも上がっております。海老名市は戸別収集をやっておりますから、1軒1軒行くと、今までは市民の顔が見えませんでした。1軒1軒行きますと、お礼を言われたり、あるいは、暑い中では冷たいものを差し出す市民の方も多くいらっしゃいます。あるいは、年度末にゴミの収集を開けるとお礼状が入っています。1年間ありがとうございました、来年も体に気をつけて頑張ってください。そういった部分では職員は、疲れていますけれども、モチベーションが上がることによって、いわゆるゴミ意識も、やっぱり職員も変わってきたというふうに思っています。

やっぱりゴミの関係というのは、市民と、それから何といても職員との共同の作業だと私は思っています。そういった面で、1つの要因は、何といても有料化が減量の要因だと思います。詳細につきましては事務局長からお答えいたします。

◎議長（熊切和人議員） 事務局長。

◎事務局長（小川隆太） 家庭系可燃ゴミの削減ということで、私からは、構成市が行っている減量化施策についてご報告させていただきます。

まず、構成三市の共通の施策といたしましては、広報紙を活用したゴミ搬入状況などの情報発信や分別の啓発、また、子ども向けの出前講座などを行っていると同っております。

次に、各市の独自の施策といたしましては、海老名市ではユーチューブ動画作

成、資源化センターの計画と企画の実施、座間市では大型商業施設と連携した啓発活動、プロギングイベントの実施、綾瀬市では市民講座の開催、3 R推進活動の一環としてS C相模原と連携した啓発活動を行っていると同っているところがございます。

なお、海老名市の家庭系ごみ一部有料化につきましては、実施前の平成30年度に比べまして、令和6年度では1人1日当たり家庭系可燃ごみの排出量が約88 g減量したということを伺っているところがございます。

減量化施策は構成市に委ねられるところではございますけれども、本組合といたしましても、今後も構成市と情報共有を行い、減量化を推進していきたいと考えているところがございます。以上でございます。

◎議長（熊切和人議員） 再質問ございますか。倉橋正美議員。

◎（倉橋正美議員） ありがとうございます。海老名市に限らず、座間市、綾瀬市それぞれが、ごみの減量化に向けた様々な事業をされていることがよく分かりました。

ただ、結果的にまだ減りが少ないかなと。もっともっと減るはずであります。そういう部分では、これまでやられてきた事業、そういったものをより推進するのか、また違った方法にてごみの減量化を進めていくのか、そういう方法論が問われるところがございますけれども、どちらにしても、先ほど監査からの要望事項にも出ておりました。やはりごみ削減が絶対条件であるというふうな意見も出ておりました。

ごみの減量化に向けることによって、やはり家庭系のごみというのは、全市民が必ずごみに対する意識を持つということでございます。事業系のごみが減ったからということではなくて、一般用の家庭系のごみの減量をすることが、その構成市の市民全体の意識の表れであるというふうに判断ができるかと思います。そういう部分では、これは申し訳ございません、両副組合長にお尋ねをさせていただきます。ごみの処理に対してどのようにお考えで、どのように今後されていくのか。もちろん方法論は、海老名の有料化というものを見据えた中でも構いません。ぜひお考えをお聞かせ願いたいと思います。

◎議長（熊切和人議員） 佐藤副組合長、答弁を求めます。

◎副組合長（佐藤弥斗） 倉橋議員の一般質問に答弁をさせていただきたいと存

じます。

まず、ごみの減量化に対する意識向上についてでございますが、初めに、ごみ減量化について大変大きな成果を上げられている海老名市、そして海老名市民の皆様方に対しまして、座間市を代表して心から敬意を表したいと思います。

また、先ほど質問の中にもございましたが、昭和38年に高座清掃施設組合が設立されて以降、ここ本郷の地にごみ焼却施設を設置し、約60年にわたり、座間市を含めた三市の家庭系、そして事業系のごみを受け入れていただき、また、この間、本郷地域をはじめとする地元地域住民の皆様方には、ダイオキシンやごみ臭気、そして収集車の騒音など非常に大きなご負担をかけておりますことを考えますと、ごみの減量化は、座間市民はじめ三市が一体となって取り組むべき喫緊の課題であり、全ての市民が自分事と捉え、取り組んでいく必要があると認識しております。

座間市では、広報ざまなどを通し、また、これから答弁させていただく様々な取組や機会あるごとに、座間市民にごみ減量化の取組への協力をお願いしているところでございます。ごみ減量化に向けた取組は、それぞれの市での取組は違えども、ごみの減量化という目標、ゴールに向かって、それぞれの実情に即して取り組んでいくということが、これまでも確認されているところだと認識しております。

座間市におきましては、市民に対する啓発として、ごみの収集員が、幼少期からごみに対する意識を向上させることを目的に、市内の幼稚園や保育園、小学校、市内外で実施される各種イベントに出向きまして、令和6年度では43回、分別講座などを行っております。これを通しまして、子どもだけではなく、保護者も啓発が進んでいると認識しております。

また、地域のごみ拾いを、フィットネス要素を加えたプロギングというものを行っておりまして、これも令和5年、令和6年度と2回実施をし、延べ114名の市民の皆様にご参加をいただいております。

また、小田急電鉄株式会社との連携協定からごみの収集のDX化を進めておりまして、これによりまして収集の効率化が図られ、生み出された人的余力を活用しまして様々な資源化を推進しております。

まず、剪定枝の資源化では、令和3年6月から、燃やすごみの日に集積所に出

していた剪定枝を別途収集する形にいたしましてから、資源化がプラス約600 t 増加しております。

そのほかにも、可燃ごみの減量化施策として、各家庭で生ごみを堆肥化していただくフードサイクルプロジェクトを実施しております、これによりまして令和4年から令和6年度、3年間の実証実験で、約10 t の生ごみが削減され、約2.8 t の堆肥にすることができました。

また、ミックスペーパーを回収することによりまして、取組前の約1.4倍、約230 t の資源化が進みまして、その分、可燃ごみの減少につながっているものと考えております。

また、事業所と連携をいたしまして、フードコートから出されるペーパーについてもリサイクルをしております。

様々なこういった取組を進めまして、家庭系ごみもそうですけれども、事業系ごみも含めて、全体としてのごみの搬出量を減少させております。令和3年度から令和6年度までで約3,500 t の減量化につながりました。また、1年間、1人1日当たりのごみの総排出量に関しましては、神奈川県内で最小値を記録させていただいております。

しかしながら、家庭系の可燃ごみにおきましては、海老名市さんの取組には届いておりませんので、私どもも、全てのごみを1 g でも減らしていきたいという思いは、今日ここにいらっしゃる皆様方と同じでございます。これからもさらに意識向上を図りながら、ごみ減量化を推進していきたいと考えております。

◎議長（熊切和人議員） 橘川副組合長の答弁を求めます。橘川副組合長。

◎副組合長（橘川佳彦） 倉橋議員のご質問にお答えをいたします。

ごみの減量化を推進する手法として有料化の導入は、減量化意識の向上が見込め、ごみの減量につながる手段の一つと考えております。先月、9月の綾瀬市議会で、ごみ減量の目的と今後の減量についてご質問をいただきました。その中で、高座クリーンセンターが約60年近く同じ場所に存在し、地域住民の方々には、焼却炉の煙突や最終処分場からのダイオキシンの飛散、流出、ごみ処理の臭気など大きな負担をかけており、特にダイオキシン問題については、焼却炉からの飛散が後に顕在化し、自然環境ではほとんど分解されにくく、長期にわたり残留すると考えられていることから、現在も不安を抱えつつ生活されていること。

また、ごみの排出量が一般廃棄物処理基本計画において定めている達成すべきごみの処理計画量を上回っており、焼却施設の適正な運営を続けていくためにも、また、地域住民の負担軽減のためにも、ごみの減量化は、家庭系ごみに限らず、事業系ごみを含めて総量を削減することが喫緊の課題と訴えております。

また、日常生活の中で、ごみを減らすという行動を一つ一つ実践すること。例えば食品ロスを減らす、生ごみの水を切る、資源を確実に分別すること……。

◎議長（熊切和人議員） 橘川副組合長、お時間ですので答弁をやめてください。

これにて倉橋議員の一般質問を終結します。

以上で本日の議事は全て議了いたしました。

これをもって会議を閉会といたします。大変ご苦労さまでした。

（午後 3 時 55 分 閉会）

以上は、会議の顛末であるが、その内容に相違ないことを証するために、ここに署名する。

令和 7 年 10 月 22 日

高座清掃施設組合議会議長 熊 切 和 人

高座清掃施設組合議会署名議員 倉 橋 正 美

高座清掃施設組合議会署名議員 高 波 貴 志